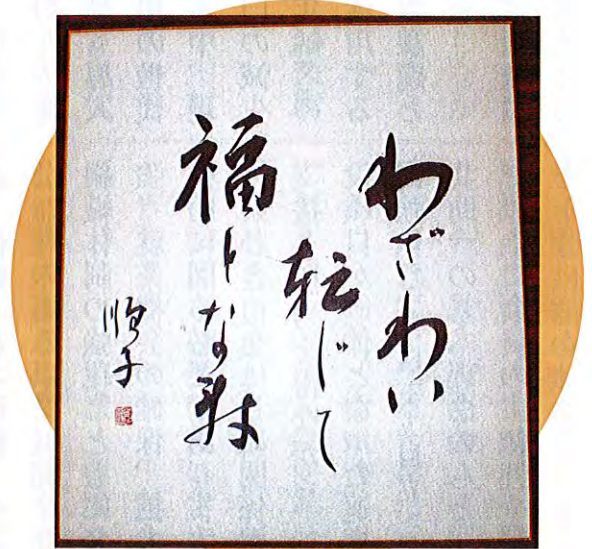


# 第 63 号

発行所  
 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3  
 (公社)いわき市シルバー人材センター  
<http://www.silver-brain.com/fukushima/iwaki>  
 広報委員会  
 TEL 0246-22-1722  
 FAX 0246-22-1752



安全講習会



戸田順子 会員 作品



米山ナツ子 会員 作品



地区班会議



## 公益社団法人 いわき市シルバー人材センター **会員心得**

1. わたしたちは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
2. わたしたちは、豊かな経験と能力を生かして仕事にとりくみます。
3. わたしたちは、誠心誠意仕事にとりくみます。
4. わたしたちは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
5. わたしたちは、健康と安全に留意します。
6. わたしたちは、会員相互のふれあいを大切にします。



# 平成二十七年事業計画

## (3月27日理事会にて決定)

### ■基本方針

わが国経済は、政府が実施したデフレ脱却に向けた諸政策による経済対策等で回復の兆しも一部見られ、更なる景気の浮揚も期待されていますが、消費税の引き上げによる生活負担への影響等もあり、依然として不安要因を残している状況にあります。一方、雇用関係においては、急速な少子高齢化により国民の4人に1人が65歳以上という超高齢社会になっており、年金受給年齢までの雇用確保のため定年延長や継続雇用制度等も導入されており、団塊の世代が順次65歳を超えている中、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高年齢者の労働能力をいかに有効活用するかが、国を挙げての重要課題となっております。

このような状況の下、地域に密着し、就業を通じて地域社会

の要望に応える元気な高年齢者が活躍するシルバー人材センター事業が果たす役割は、ますます重要であり、市民の期待も増大しております。

しかしながら、国の行財政改革による、運営費補助金の削減や震災と経済不況に伴う受注減、労働環境の変化による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然、厳しい状況にあります。こうした現状を克服するためには、更なる自助努力も必要であり、公益社団法人として真に地域社会に愛され、信頼される団体となるため、公益性のある事業展開を念頭に組織体制の強化とともに会員増強、就業機会の確保、拡大を積極的に図る必要があります。

いわき市をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、会員、役員が一体となった連携を更に強化し、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、今以上に以上に会員の主体性や積極性を十分に活かせるセンターとし

て安全・適正就業を基本に更なる事業の基盤拡大と充実発展に努めてまいります。

### 事業実績目標

- (1) 会員数 一、三〇〇名
- (2) 受託件数 七、一〇〇件
- (3) 就業延人数 一〇一、〇〇〇人日
- (4) 契約金額 五一四、〇〇〇千円

## 事業実施計画

### 一、組織体制の強化

公益社団法人として組織体制を更に強化するため、センターの自主性・主体性を基本に理事会をはじめ班長会議、各種委員会、地区班会議等の有機的な活動の推進を図りながら、より公正で公平な事業運営に努めます。また、いわき市、県連合会、職業安定所等、関係機関との連携も密にし、地域社会のニーズに応え、信頼を高めるため、会員の就業意欲と共働・共助の連帯意識のもと、会員相互の親睦と融和を図りながら組織の強化に努めます。

### 二、安全就業の徹底

事業運営の基本である安全就

業を全員で認識し、事故ゼロを目指した事故防止対策を組織を挙げて取り組む必要があります。「安全は全てに優先する」を念頭に、会員の就業時及び就業途上の事故を未然に防ぐため、今年度も安全・適正就業委員会、安全就業推進員、安全パトロール指導員を中心として定期的な就業現場視察、就業時の安全一声運動の徹底等による注意喚起を積極的に推進します。また、会報等による啓発とともに各種安全講習会等による安全就業の意識、健康診断の受診促進等による健康意識の高揚に努め、安全就業の徹底を図ります。

### 三、適正就業の推進

会員の就業形態に応じた法令順守を図りながら、公平な就業機会の提供を前提として、就業の分ち合いにより多くの会員が働く喜びと生きがいを感じることができるよう、「就業基準に関する要綱」を基本として、ローテーション就業の推進と就業参加の呼掛けを積極的に行います。ま

た、今年度も就業率の向上のため未就業会員の体験就業並びにアンケート調査等を実施しながら、働く喜びを享受できるように適正就業の推進に努めます。

#### 四、福祉・家事援助サービス事業の推進

超高齢社会が進展する中、福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加してきている現状を踏まえながら、受注体制の強化のため、実践に即した講習会を実施すると共に、発注者、就業会員の多様なニーズを的確に把握しながら、希望に合った仕事の紹介に努めます。

福祉・家事援助サービス事業の充実のため、「福祉の受け手から担い手」を目指して、会員の確保、育成を図り、センターの役割を十分検討しながら少子高齢社会に対応すべく積極的な事業展開を図ります。

#### 五、会員拡大の強化推進

センター事業の根幹をなす会員数を確保するため、会員拡大を最重要課題とし、減少傾向に

ある会員数を増加させるため、団塊の世代の入会動向を見極めながら、入会説明会（原則月5回）の充実を図ると共に、会員の口コミ強化、街頭啓発活動等による積極的な入会促進活動を実施し会員拡大を推進します。

多種多様な就業依頼に常に対応できるよう、センター理念に賛同し、自己の知識・経験を活用し、就業を通して社会参加と生きがいづくりを希望する、より多くの健康で働く意欲と能力のある会員の確保に努めます。

#### 六、各種技能講習会の充実・強化

好評を得て、受注量が増加している技能職群、襖張替え、植木剪定、筆耕等の仕事にスムーズに対応できる体制を更に強化するため今年度も技能職群の就業会員育成を目的とした技能講習会の充実を図るとともに、発注者や利用者等により満足いただけるよう接遇研修等、目的に沿った各種講習会も積極的に開催します。また、高齢者の就業支援を前提としたシニアワーク

プログラム事業、高齢者活躍人材育成事業の技能講習も県連合会との連携を図りながら実施します。

#### 七、普及啓発活動、就業機会開拓の推進

シルバー人材センター事業を地域社会に広く理解・浸透させ事業拡大を図るには普及啓発活動は大きな役割を果たします。地域人づくり事業による就業機会創出員の開拓活動と併せ、センターのホームページによるPR、会報、リーフレットの有効活用、街頭啓発活動の実施等、様々な機会を通じて普及啓発に努め、関係機関との連携を図りながら、企業、各種団体、個人家庭へのPR活動を強化し、普及啓発活動を推進します。また、就業機会の更なる拡大のため、会員、班長、役員が一丸となり積極的に就業機会の掘り起しに努めると共に、今年度も役員による事業所訪問等を実施し就業機会の開拓推進に努めます。

#### 八、多様化する就業形態への対応

高年齢者の雇用情勢は法律改正を受け多方面で変わりつつあり、センターで扱う就業形態も従前からの請負・委任による就業はもとより臨時的・短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業等、より多様化してきております。会員と発注者のニーズを的確に把握しながら、仕事の量的確保、拡大を図るため、一般労働者派遣事業、職業紹介事業にも積極的に取り組みます。

#### 九、地域社会への貢献と共存

公益社団法人として真に信頼され、親しまれるセンターとなるためには、地域に根ざした協力、協関係が何にもまして重要であり、共存、共栄の立場から地域あつてのセンターを念頭に感謝の心を持って、今年度も公益目的事業の一端として市内3ヶ所でのゴミ拾い清掃の地域美化奉仕作業、サンシャインマラソンのボランティア参加等の活動を継続し、会員作品展示会等の文化活動も積極的に実施し

ながら地域社会への貢献と共存を図ります。

**安全・適正就業委員会から**

今回は3月31日の第三回安全・適正就業委員会の会議内容について報告します。

就業期限五年間の就業交代は学校用務員ほか5種類の交代が報告され承認されました。

26年4月1日より27年3月31日までの一年間の傷害事故5件賠償責任事故は10件で25年度より傷害事故は1件、賠償責任事故は5件程多くなっています。賠償責任事故は、ほとんどが機械草刈りの事故です。今回の委員会の協議で、事故を起こした作業員はペナルティとして内容によっては一年間の就業停止処分を検討せざるをえません。

事故を未然に防ぐためにも、作業内容によっては一人作業の就業はやらないよう心がけていただきたいと思います。

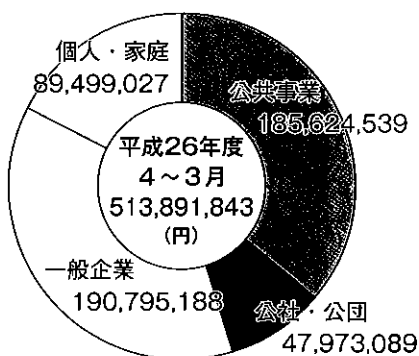
(安全・適正就業委員会)

委員長 鈴木 英應

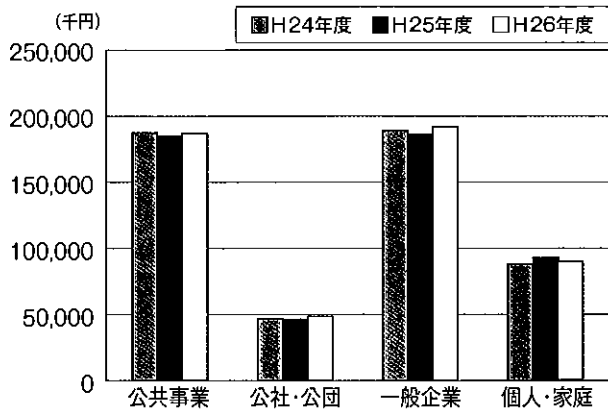
**平成26年度事業実績速報**

平成26年度事業実績(4月3月)を見ますと、景気の浮揚も多少見えてはいますが依然として低調な経済状況下、会員各位のご努力、市当局並びに関係機関のご協力により事業運営は順調に推移しております。契約金額は前年度比で1.4%と若干ですが増加に転じております。内訳を見ますと公共事業、公社・公団からの受注は行財政が厳しい中、前年度と比較すると増加しており、民間受注も企業からの発注が好調で増加傾向にあります。個人・家庭からの発注は残念ながら減少しております。

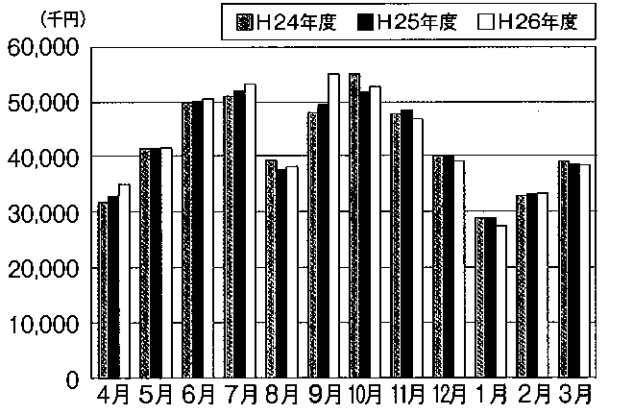
**平成26年度発注者別契約金額**



**年度別・発注者別契約金額(4~3月)**



**年度別・月別契約金額**



**地区別会員数 平成27年3月末現在(人)**

地区	男	女	計	地区	男	女	計
平	238	103	341	小川	23	6	29
小名浜	183	46	229	久大	7	3	10
勿来	132	44	176	三和	27	16	43
常磐	87	25	112	遠野	12	5	17
内郷	55	24	79	田人	8	3	11
四倉	33	10	43	川前	3	2	5
好間	25	10	35	合計	833	297	1,130

**平成27年度 定時総会のお知らせ**

平成27年度定時総会を5月29日(金)13時からいわき市文化センター大ホールにて開催いたします。年に一度の重要な会議であり、会員のみならず一堂に会する絶好の機会ですので、万障繰り合わせのうえ、ご参加下さい。

尚本年度の会費未納の方は、当日納入下さるようお願いいたします。現在事務局でも受け付けております。

(年度会費二千五百円)

# こちら取材班!



今回取材班は、小名浜大原で主にプリント配線基板の実装・組立加工、F A機器の組立加工などを行っているアルパインテクノ株式会社を訪ね、シルバー人材センター会員皆さんの就業状況を、生産管理部マネージャーの鈴木秀保様にお伺いいたしました。

**Q** シルバー人材センターにはどのような仕事を依頼されていますか。

**A** 現在は3名の方に色々な作業をお願いしております。

ひとりの方には、主に電子回路基板となる材料の仕分けと基板の組立て作業を、二人目の方には、各工程で必要となる基板を計画表に照らしながら所定の場所へ運搬する作業をお願いしています。

三人目の方には、産業廃棄物の整理や産廃業者様への対応

をお願いしています。

**Q** 仕事ぶりはいかがでしょう。

**A** 3名の方々には別々の作業をさせていただいていますが、以前に同じ様な仕事を経験していたとのことで、仕事にもすぐ慣れ常に一生懸命に取り組んでいただいております。

**Q** シルバー人材センターのイメージはどうでしょうか。

**A** シルバー人材センターからはだいぶ前から来ていただいておりますが、いつも仕事に意欲的な方々に来ていただいております、この様な方々がたくさんおられるのではないかと思います。

**Q** 今後、シルバー人材センターに期待すること等、お聞かせ下さい。

**A** これまでと同様に、迅速かつ的確な対応を期待しています。◎御多忙のところ、誠にありがとうございました。末永くご愛顧をお願いいたします。



## リレー随筆



### 人は財産です

平7A班  
水戸 宏

産業人として長年勤務してきた会社も卒業しましたが、さてまだ身体も元気・決して家計も楽とは言えないので少しでも働きたいと思っていました。

職安に行っても毎回「ご苦労様でした」の挨拶しか貰えない。そんな折、シルバー人材センターのあることを知りました。先ず、書道クラブを見つけ「こは研修所なんだな。勉強して仕事をしたいものだ」という安易な気持ちで入会しました。

その時のクラブの会員は30数名いまして、その中には有段の人や師範の人が数人もおり、塾を持っている人もいました。

その様なとき、子供会会長をやっていた義弟から、小学校卒業の子供達に賞状を出してやりたいのでと、名前の書き入れを

頼まれましたが、上手に書けなくて恥ずかしくなったりでシルバークラブを辞め、NHK文化センターの書道教室に通い数年後、書道クラブに再入会しました。出戻り入会ですね。

その頃の世の中はパソコンが急速に発達して書の仕事は激減したと聞いております。ですが人生は仕事ばかりでない、会員相互の交友で楽しく過ごすことも大切だと思えました。

シルバー人材センターには色々な分野で優れた人が沢山いると思えます。そういうことからシルバー人材センターではなく、人財センターの方が良いのではないかと私は思いました。

私達は、産業人の中の第二軍で、体力や事業システムの都合上、第一軍にやってもらうには非効率な分野、即ち草刈りや清掃作業、小仕事などで社会全体の効率を高めるものは勿論、人財を生かす業務も流れてくれば良いですね。

# 講習会実施報告

## ◆襖・障子張替え講習会

月日 2月16日(月)～20日(金)実5日  
 会場 いわき市職業訓練センター  
 内容 襖・障子張替えの実技  
 講師 小野作雄氏  
 受講者 会員9名



## ◆クロマツ剪定講習会

月日 2月23日(月)～24日(火)実2日  
 会場 いわき市総合運動公園  
 内容 クロマツの剪定実技  
 講師 有限会社箱根ランドスケープ  
 代表取締役 箱根保光氏  
 受講者 延べ42名



## ◆筆耕講習会

月日 3月9日(月)  
 会場 シルバー人材センター  
 内容 賞状の浄書  
 講師 植松 泰広氏(会員)  
 受講者 会員4名



## ◆雑木剪定講習会

月日 3月18日(水)  
 会場 いわき市フラワーセンター  
 内容 雑木の剪定(講義・実技)  
 講師 有限会社箱根ランドスケープ  
 代表取締役 箱根保光氏  
 受講者 会員17名



## シニアワークショッププログラム事業

### ◆ビジネスパソコン講習

月日 12月8日(月)～19日(金)実10日  
 会場 いわきニュータウンセンタービル  
 内容 ビジネス文章作成他  
 講師 (株)アカデミーパソコン  
 インストラクター  
 受講者 会員1名・安定所3名  
 一般12名



## 各種講習会のご案内

平成27年度の講習会のご案内です。

### I 技能講習

講習会名	日数	募集人員	開催予定時期
接遇	1	30	7月
筆耕	2	30	12月
刃物研ぎ	1	20	10月
黒松剪定	2	40	2月
雑木の剪定	1	40	2月
襖・障子張替	5	50	3月
安全衛生講習会座学	1	30	11月
安全衛生講習会実技	1	30	11月
刈払機メンテナンス	1	30	11月

### II 福祉・家事援助サービス講習

講習会名	日数	募集人員	開催予定時期
調理実習	1	20	11月
介護講習	1	25	11月
清掃講習	1	30	11月

希望者は、事前に申し込みください。日程等が決まり次第、申込者だけに通知します。(定員を超えた場合は、抽選となります)

(事務局 22・1722)



### ■平成26年度役員・班長・委員 合同研修会が開催されました。

日時 3月2日(月) 13時30分  
会場 いわき市文化センター  
内容

1. 事務連絡
2. 講演会

講師 いわき市保健福祉部  
長寿介護課

大津拓直先生  
金成聡司先生

演題 認知症サポーター  
養成講座

「認知症を正しく理解し、  
温かい目で見守ろう」

以下、配布資料『認知症を学  
び地域で支えよう』（いわき市）  
より抜粋

#### 1. 「認知症」を理解する

##### ① 認知症とはどういうもの？

・ いろいろな原因で脳の細胞が死  
んでしまったり、働きが悪くなっ  
たためにさまざまな障害が起こ  
り、生活するうえで支障が出て  
いる状態を指します。

##### ② 認知症の症状

・ 脳の細胞が壊れることによって  
起こる症状。

・ 本人がもっている性格・環境・  
人間関係等様々な要因がからみ  
あつて起こる症状。  
③ 中核症状  
④ 周辺症状とその支援  
・ 元気がなくなり引つ込み思案に  
なる。  
・ 身の回りのことに支障が起こつ  
てくる。  
・ 周辺の人が疲弊する精神症状。  
・ 行動障害への理解。

##### ⑤ 認知症の診断・治療

・ 認知症は、早期受診、早期診断、  
早期治療が非常に重要です。初  
期は認知症の診断が難しく、専  
門の医療機関への受診が不可欠  
です。

##### ⑥ 認知症の予防についての考えかた

・ 高血圧・高脂血症・肥満になら  
ないようにする。  
・ 楽しく運動する。  
・ 生活習慣（運動や食事）に気を  
配る。  
・ 脳を楽しんで使う（仲間と楽し  
い時間を共有する）

##### ⑦ 認知症の人と接するときの心構え

・ 認知症の人は何もわからないの  
ではなく、誰よりも心配なもの、  
苦しいのも、悲しいのも本人です。  
・ 交通機関や店などまちのあらゆ  
るところに、温かく見守り適切  
な援助をしてくれる、こころの  
バリアフリー社会をつくること  
が認知症サポーターの役割です。  
・ さりげなく自然に、これが一番  
の援助です。

##### ⑧ 認知症介護をしている家族の気持ち を理解する

2. 認知症サポーターとは  
・ 他人事として無関心でいるのでは  
なく、「自分たちの問題である」と  
いう認識をもつ。

・ 認知症について正しく理解し、偏  
見を持たず、認知症の人や家族に  
対して温かい目で見守る。  
地域で 職場で 家族で

### ■地区班会議・安全講習会が開催 されました。

「交通安全教室」講話・ビデ  
オ等  
講師 いわき市交通安全対策協  
議会交通指導員他

### ・地区班会議

1. 班ごとに懇談
2. その他（質疑応答）

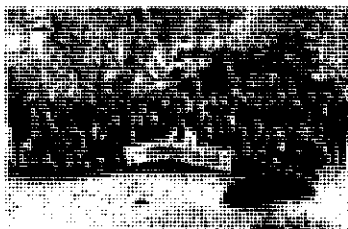
### ■地区別出席者数

日程	開催場所	該当地区	会員数	出席者数	出席率
3月5日(木)	好間公民館	好間・三和地区	78名	40名	51.3%
3月6日(金)	小川公民館	小川・川前地区	36名	17名	47.2%
3月9日(月)	内郷公民館	内郷地区	80名	31名	38.8%
3月10日(火)	常磐公民館	常磐・遠野地区	133名	58名	43.6%
3月12日(木)	四倉公民館	四倉・久ノ浜地区	56名	15名	26.8%
3月13日(金)	市文化センター	平地地区	347名	104名	30.0%
3月16日(月)	勿来市民会館	勿来・田人地区	188名	54名	28.7%
3月17日(火)	小名浜市民会館	小名浜地区	233名	79名	33.9%
合計			1,151名	398名	34.6%

※時間 午後1:30～午後3:30まで

### ◆今年も盛会に一泊旅行(共助会)

2月17(日)18日、雪の塔のへつ  
りと大内宿を巡り、芦の牧温泉  
観劇の旅を会員53名の参加のも  
と実施しました。宿泊するホテ  
ルを変更した今年は、全館暖房  
で客室・食事・温泉浴室とも良  
く、参加費からみれば満足と言  
える旅でした。夜の大宴会では、  
芸の達者な会員による歌や踊り  
で会場は大いに盛り上がり、会  
員相互の親睦を図ることが出来  
ました。二日目は10時から昼食  
を挟み、約3時間の芝居と踊を  
楽しむ有意義な二日間でした。



### 計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小名浜4B班 黒澤 昭殿(一月)  
小名浜1班 坂本 忠文殿(二月)  
平 9班 北野 貞雄殿(三月)



# ▶シルバーの未来を拓く…安全就業◀

## カメラ の汗 ポ



〈倉前医療館清掃作業〉

まだキャリアは浅いですが、ゴミひとつ落ちていないよう、共用フロアー、外庭の清掃に励んでいます。

(山野辺 会員)



〈小名浜臨海工業団地公園 北緑地管理業務〉

来園される皆様が感動して、再来園してくれる様な公園を目ざし、日々手入れに励んでいます。

(大平・佐藤・村上 各会員)



〈空地草刈り作業〉

機械草刈りの他、雑木の伐採になりましたが、3人力を合わせなんとか完成させました。

(続橋・鈴木・丸子 各会員)



〈小名浜臨海工業団地公園 東緑地管理業務〉

大勢の来園者がある花見時期には、来園者の安全に気くばり・目くばりしながらみんなで公園の美化に取り組んでいます。

(佐藤聖) 佐藤(又) 渡部矢嶋 各会員)



〈小名浜臨海工業団地 大畑公園管理業務〉

シルバーの仲間が保ってきた美しい公園の景観をいつまでも保てるよう、みんなで頑張っています。

(中村・酒井・箱崎 各会員)



〈基板の仕分け運搬作業等〉

3人別々の作業ですが、後工程に迷惑をかけないように、緊張感を持って取り組んでいます。

(草野・馬上・畠中 各会員)

### ◆あとがき◆

自宅近くに磐城農業高校がある。時々生徒が実習で野菜や花、卵を持ってグループで売りに来る。先日は卵だった。〃磐農の卵です。新鮮ですよ〃と呼ばけながら歩いていたら反応がいまいちだったらしい。次に出た言葉は、〃今晚のおかずにおかけごはんはどうですか。うんまいよ〃二階で洗濯物を取り込んでいた私、これには思わず笑ってしまった。その日一日がなんだか楽しくて楽しくて。

高校の校舎は震災で全壊、今急ピッチで新校舎の建設が進められている。生徒には一日でも早い新校舎での授業をと思う。

◆地区班長さんの協力を得ながら、リレー随筆〃が、おらが地域の自慢〃とタイトルを変更し次64号(9月1日発行予定)から登場します。お楽しみに。

- 広報委員長 山本 禎子
- 広報委員 永山 重康
- 広報委員 影山 靖翁
- 広報委員 根本 文彦